

## 令和7年度ごみ量について

◆表1◆

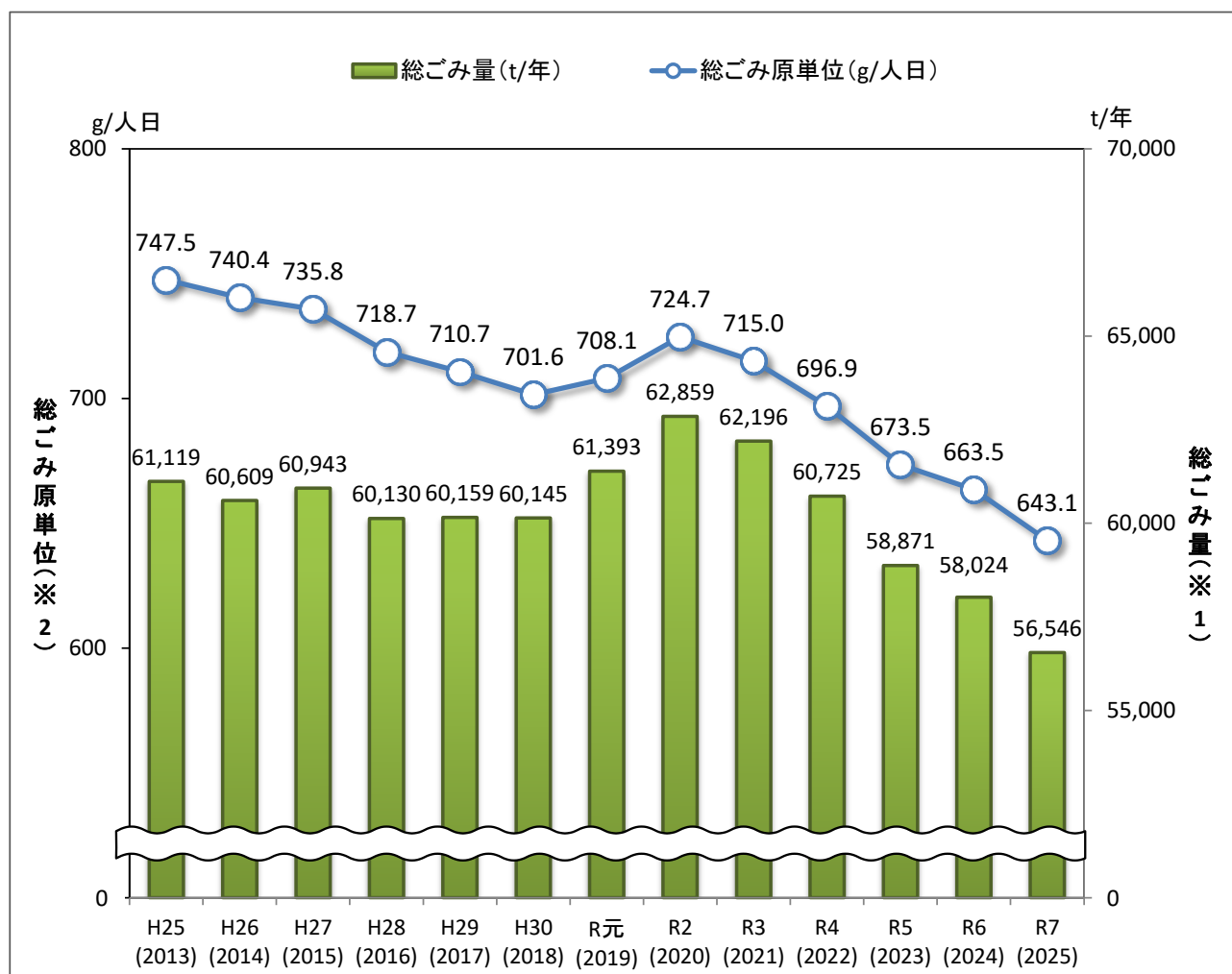
| 項目            | 令和7年度<br>実績 | 令和6年度<br>実績 | 増減        | 一般廃棄物処理基本計画<br>(第3次) R12年度<br>計画目標・参考指標 |
|---------------|-------------|-------------|-----------|-----------------------------------------|
| 人 口 (10/1 基準) | 240,897 人   | 239,580 人   | 1,317 人   | 242,079 人                               |
| 総排出量          | 56,546 トン   | 58,024 トン   | ▲1,478 トン | —                                       |
| 総ごみ原単位        | 643.1g/人日   | 663.5g/人日   | ▲20.4g/人日 | 688g/人日 (目標)                            |
| 最終処分量         | 0           | 0           | —         | 0 (目標)                                  |
| 家庭系ごみ原単位      | 348.9g/人日   | 355.0g/人日   | ▲6.1g/人日  | 366g/人日 (参考)                            |
| 事業系ごみ量        | 7,809 トン    | 7,945 トン    | ▲137 トン   | 7,790 トン (参考)                           |
| 総資源化率         | 33.2%       | 36.1%       | ▲2.9 ポイント | 42.1% (参考)                              |

◆表2◆

\*単位：トン

| 項目                     |            | 令和7年度<br>実績 | 令和6年度<br>実績 | 増減 (トン) | 増減率 (%) |
|------------------------|------------|-------------|-------------|---------|---------|
| 可燃<br>ごみ               | 家庭系        | 25,935      | 26,131      | ▲196    | ▲0.7%   |
|                        | 事業系        | 7,809       | 7,945       | ▲137    | ▲1.7%   |
|                        | 小計 A       | 33,744      | 34,076      | ▲332    | ▲1.0%   |
| 不燃<br>ごみ等              | 不燃ごみ       | 2,795       | 2,939       | ▲144    | ▲4.9%   |
|                        | 有害ごみ       | 81          | 81.8        | ▲1      | ▲1.5%   |
|                        | 小計 B       | 2,876       | 3,021       | ▲145    | ▲4.8%   |
| 粗大<br>ごみ               | 可燃性粗大      | 1,217       | 1,158.2     | 59      | 5.1%    |
|                        | 不燃性粗大      | 262         | 336         | ▲74     | ▲21.9%  |
|                        | 粗大資源       | 391         | 398.8       | ▲8      | ▲2.1%   |
|                        | 小計 C       | 1,870       | 1,893       | ▲23     | ▲1.2%   |
| 資源物                    | 古紙類        | 7,842       | 8,060       | ▲218    | ▲2.7%   |
|                        | 古布類        | 1,029       | 1,048       | ▲19     | ▲1.8%   |
|                        | びん         | 1,567       | 1,645       | ▲78     | ▲4.7%   |
|                        | 缶          | 545         | 559.3       | ▲15     | ▲2.6%   |
|                        | 牛乳パック      | 17.9        | 18.8        | ▲1      | ▲4.8%   |
|                        | ペットボトル     | 1,058       | 1,104       | ▲46     | ▲4.2%   |
|                        | 容器包装プラスチック | 3,830       | 3,939       | ▲108    | ▲2.7%   |
|                        | 小型家電       | 6           | 5           | 1       | 19.6%   |
|                        | 小計 D       | 15,894      | 16,378      | ▲484    | ▲3.0%   |
| 収集ごみ量<br>E = (A+B+C+D) |            | 54,384      | 55,368      | ▲983    | ▲1.8%   |
| 集団回収 F                 |            | 2,161       | 2,656       | ▲495    | ▲18.6%  |
| 合計 (総ごみ量 E+F)          |            | 56,546      | 58,024      | ▲1,478  | ▲2.5%   |

# 1 総ごみ量の推移



※1 総ごみ量：家庭系ごみ＋事業系可燃ごみ＋資源物（集団回収を含む）

※2 総ごみ原単位：総ごみ量÷人口÷年間日数

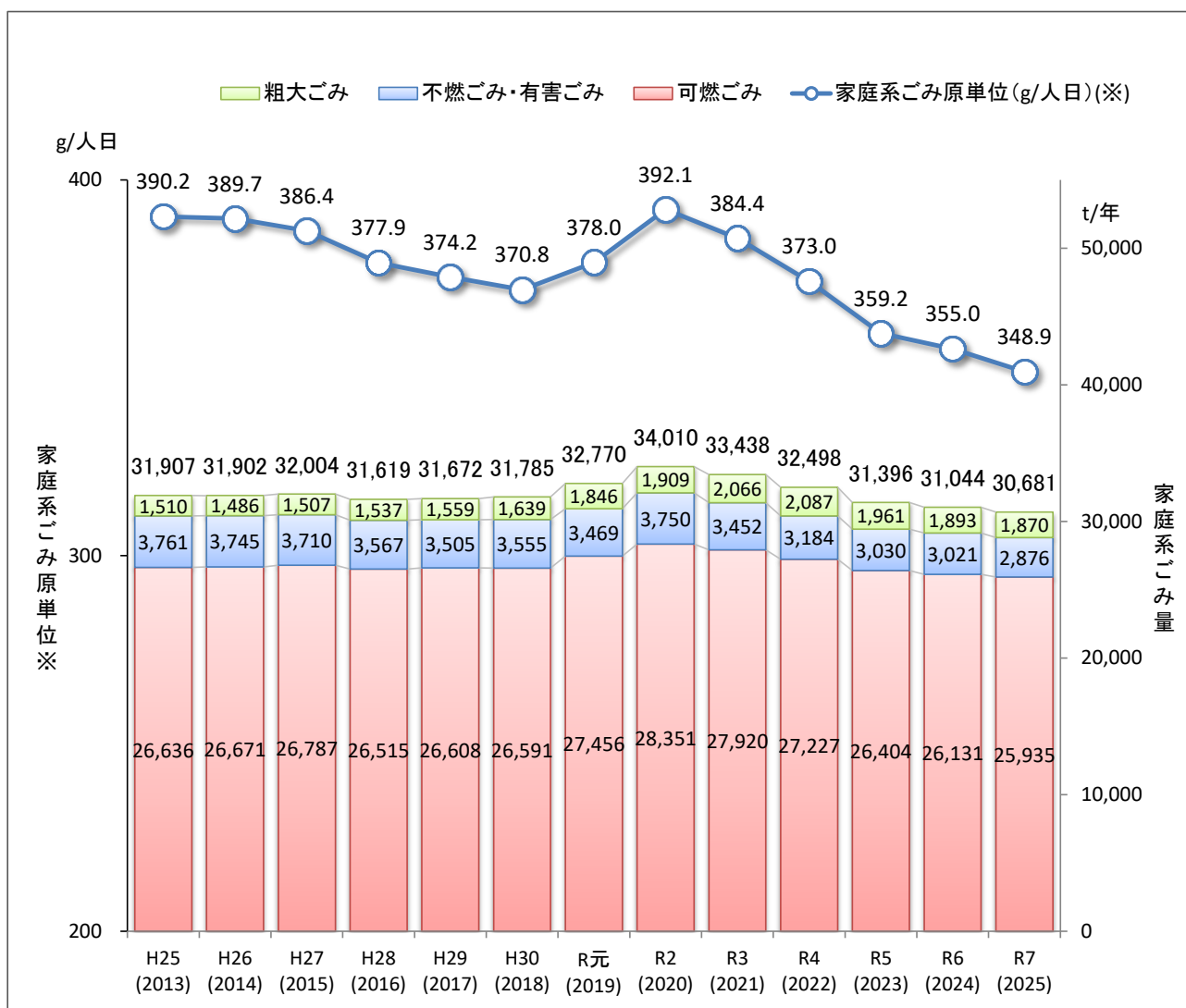
令和7年度の総ごみ量は56,546トンと、前年度と比べて1,478トン（-2.5%）の大幅な減少となりました。総ごみ原単位は643.1g/人日で、人口が増加したこともあり前年度比で20.4g/人日（-3.1%）の減少となっています。

前ページの対前年度の増減量をまとめると、

- 家庭系ごみ（可燃・不燃・粗大）：363トン減
- 事業系可燃ごみ：137トン減
- 資源物・集団回収：979トン減

となっており、資源物・集団回収の減少が総ごみ量の減少に大きく寄与しています。また、コロナ禍以降で初めて事業系可燃ごみ量が減少したことも、総ごみ量の減少に寄与しています。

## (1) 家庭系ごみ量の推移



※ 家庭系ごみ原単位：家庭系ごみ（可燃,不燃,有害,粗大）÷人口÷年間日数

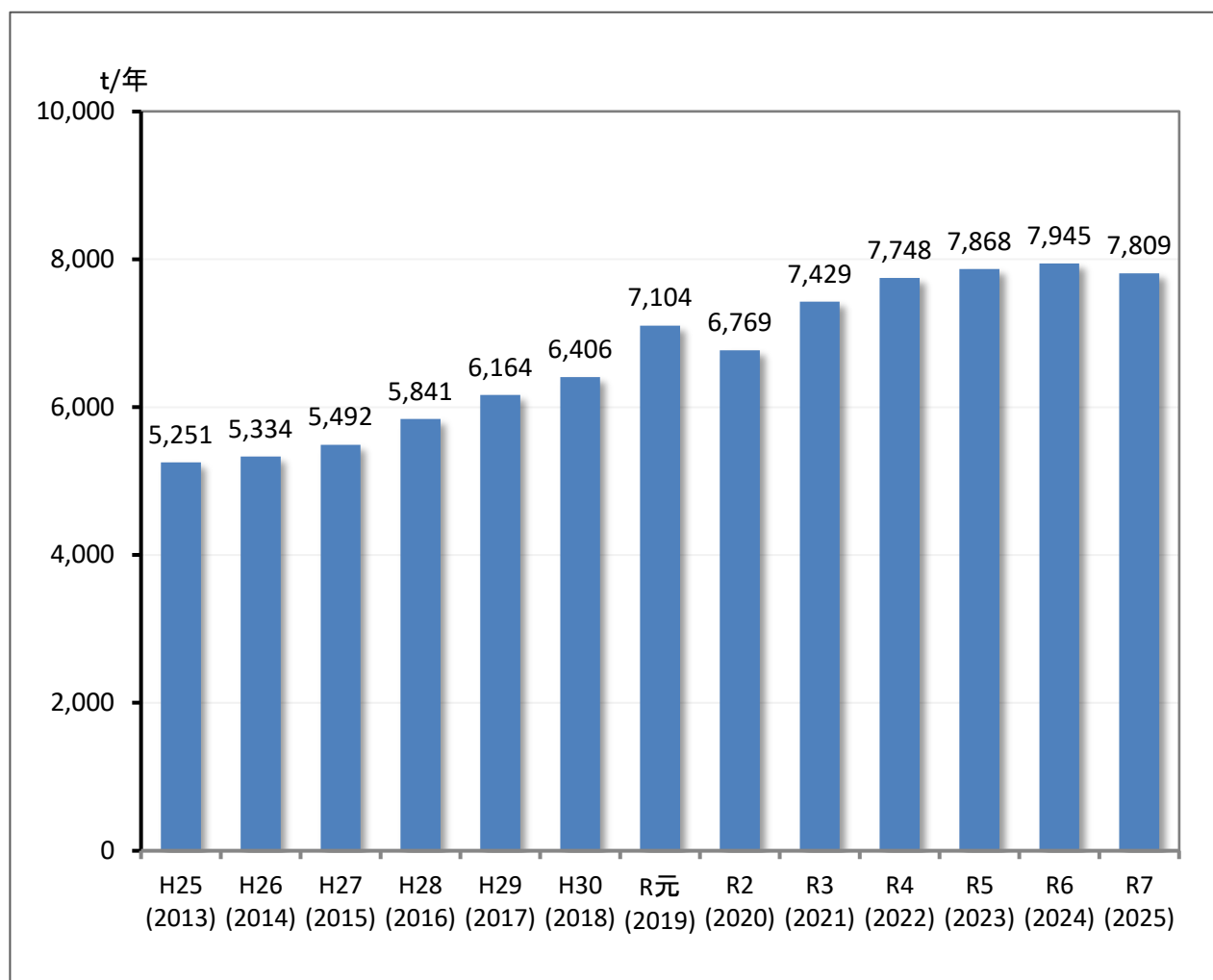
\* 事業系可燃ごみや資源物は除きます

令和 7 年度の家庭系ごみ排出量は 30,681 トンで、前年度より 363 トン（-1.2%）の減少となりました。

家庭系ごみ原単位（市民 1 人 1 日当たりの排出量）は、1.7% 減の 348.9g/人日でした。

家庭系ごみ原単位は、令和 2 年度にコロナ禍の影響で大幅に増加し、その後令和 5 年度までは大幅な減少傾向にありましたが、令和 6 年度以降はコロナ禍前の緩やかな減少傾向に移行しつつあります。

## (2) 事業系可燃ごみ量の推移

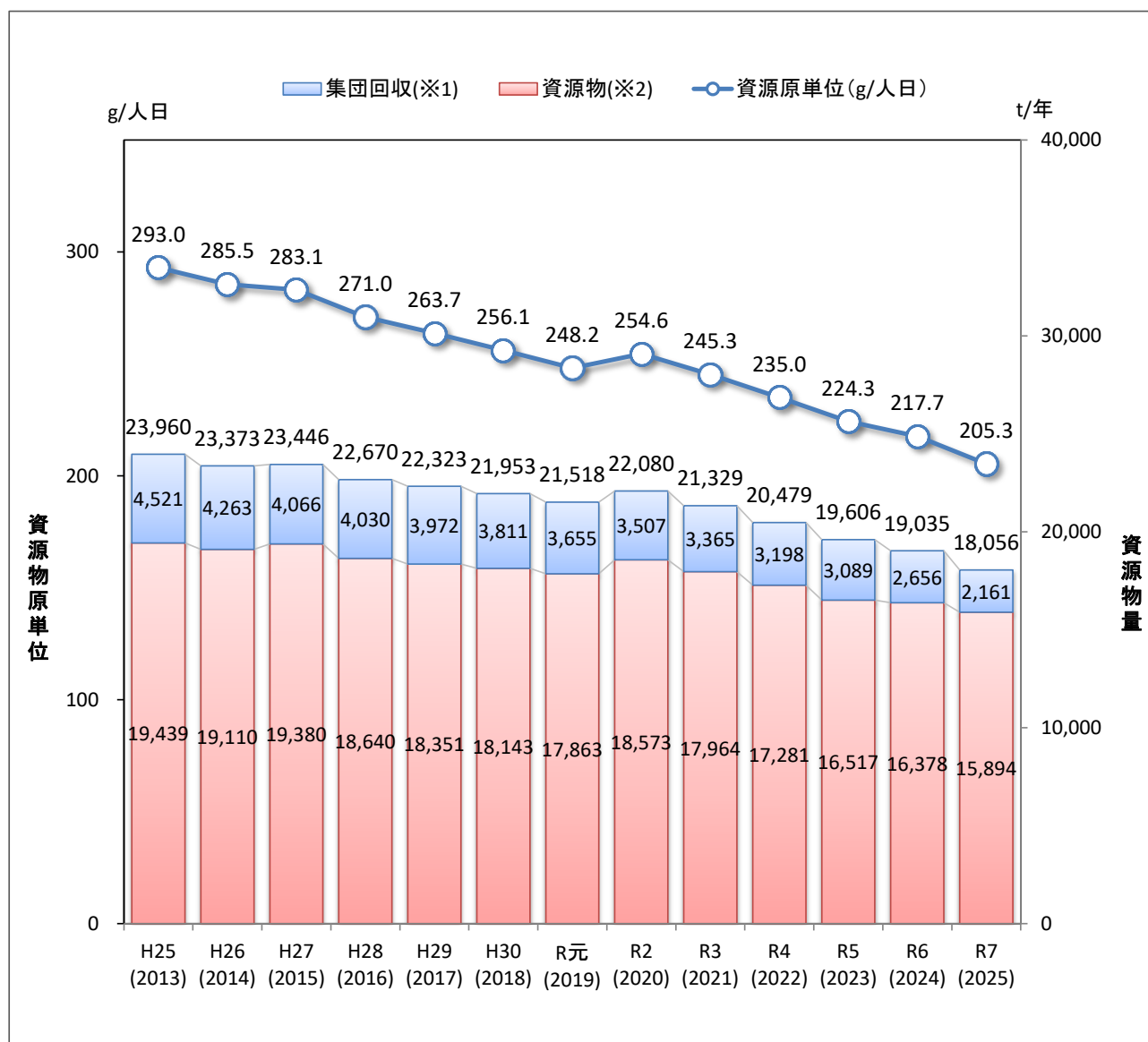


※事業系可燃ごみ量：清掃工場に持ち込まれた事業系の可燃ごみ量

令和 6 年度の事業系可燃ごみ量は 7,809 トンと、対前年度で 137 トン（-1.7%）の減少となりました。

事業系ごみが減少に転じたのは、コロナ禍後の令和 3 年度以降では初めてです。

### (3) 資源物・集団回収量の推移



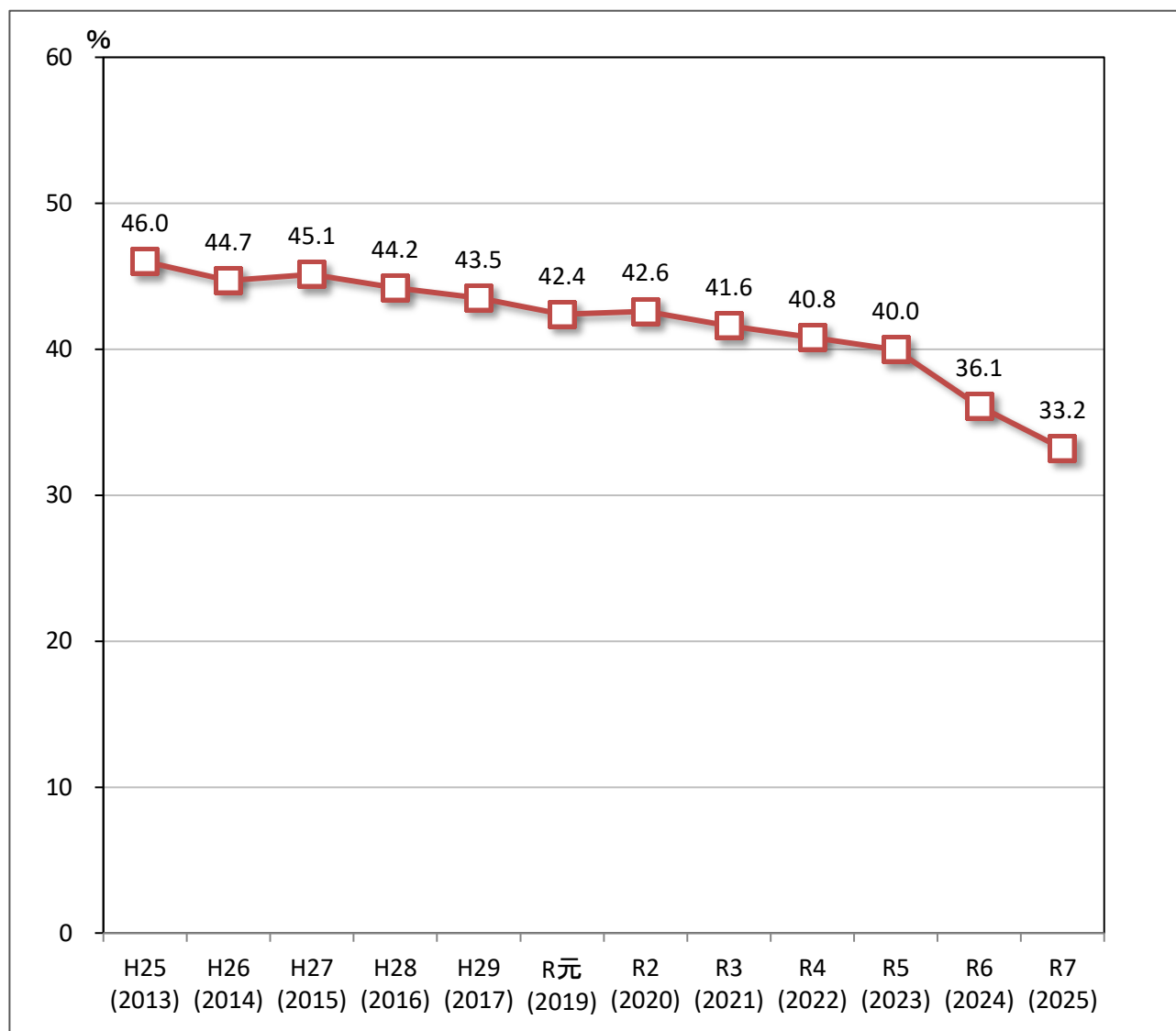
※1 集団回収：子ども会や自治会など市民団体が回収した資源

※2 資源物：行政が分別収集した資源

令和7年度の資源物・集団回収量は、前年度から979トン減（前年度比5.1%減）の18,056トンと、大幅な減少となりました。原単位（1人1日あたりの量）は前年度比5.7%減の205.3g/人日となっています。

1 ページ目の表2に見るように、分別収集する資源物量が対前年度比3.0%の減少であるのに対し、集団回収量は18.6%と大幅な減少となっています。

## 2 総資源化率の推移



総資源化率＝（資源物収集量＋中間処理施設資源化量\*＋集団回収量）÷総ごみ量

\* 粗大ごみからの金属回収や焼却灰のエコセメント化を含む

令和 7 年度の総資源化率は 33.2%で、令和 6 年度より 2.9 ポイント減少しました。これは資源物収集量の減少に加え、ふじみ衛生組合リサイクルセンターの建替工事が令和 6 年度途中から開始され、ペットボトルやプラスチック類の資源化がなされなかったことによります。